

2021年度 精神分析研究会・神戸

年間テーマ「セクシュアリティと関係性」

世界中の政治的・社会的分断が深刻化し、あたかもその具現化として covid-19 があるかのように感じられる状況が続いています。私たちの臨床や学びの場もオンライン化という大きな変化、ある種の分断を余儀なくされました。オンラインの体験は、逆に、身体性、性愛、つながりの重要性を再認識させる機会を私たちに与えました。当研究会では、今年度のテーマを「セクシュアリティと関係性」とし、精神分析的臨床に必須の要素とは何かをあぶり出したいと思います。

今年度は、現地参加とオンライン参加とを両立させるハイブリッド開催を目指します。現地では、十分な感染防御対策を講じて皆様をお迎えします。また、遠方の方やご希望の方にはオンライン参加を提供します。感染拡大の状況によっては現地開催が遅れる、または断念せざるをえない可能性もありますが、皆様とともに学ぶ機会を大切にしたいと願っています。

代表 小林俊三

プログラム

精神分析セミナー

ハイブリッド開催予定、ただしオンラインのみの可能性あり、3月末に決定

症例検討と系統講義のセミナー。さまざまな学派の講師をお招きし、幅広く精神分析について学びます。

参加費 60,000円（臨床心理系大学院生及び修了後1年目の方は30,000円）
開催日時 日曜日（月1回・年間10回）12:00～16:45
会場 神戸市教育会館（神戸市営地下鉄「県庁前」駅から徒歩5分）※人数により変更の場合有

臨床講読会（講師：小林俊三）

オンライン
開催

対象関係論の重要な論文をグループで検討し、参加者が文献理解に必要な力を身につけることを目指します。

参加費 25,000円（精神分析セミナーにご参加の方は15,000円）
開催日時 第2木曜日（毎月1回）19:30～21:30

新企画！

初心者向け臨床講読会（講師：辻河昌登）

オンライン
開催

精神分析的な心理療法に関する実践的で、初心者にも理解しやすい本を取り上げます。

参加費 夏季8回分 7,000円（精神分析セミナーにご参加の方は4,000円）
開催日時 月曜日 20:30～21:30（年間25回程度。夏季・秋季・冬季に各8回程度）

グループスーパービジョン（講師：小林俊三）

オンライン
開催

小グループの参加者が毎回順番にケースを発表し、参加者全員でディスカッションしていきます。

参加費 25,000円（精神分析セミナーにご参加の方は15,000円）
開催日時 第4土曜日（毎月1回）18:30～21:00

内 容：症例検討（12:00~14:00）・系統講義（14:15~16:45）の2部構成!!
年間テーマ：セクシュアリティと関係性

ハイブリッド
開催予定

① 2021年 4月 11日	メルツァーの『閉所/クロストラム』と倒錯	飛谷 渉 先生
<p>メルツァーの「閉所」は、主体が内的対象の内部に侵入することで生じる世界体験の様式です。閉所恐怖を伴い「生のようなもの」を生きることを強いられます。閉所は、摂食障害や倒錯嗜癖の病理とともに、現代のデジタル・ネイティブ心性理解の鍵を提供します。</p> <p>参考文献：Meltzer, D.: The relation of anal masturbation to projective identification. <i>International Journal of Psycho-Analysis</i> 1966, 47, 56-67 Reprinted 1988 in <i>Melanie Klein Today Vol.1</i> 61-78. Routledge, London (松木邦裕監訳, 義村勝訳 1993 メラニー・クライン トゥッティ① 73-95, 岩崎学術出版社, 東京) 参考図書：Donald Meltzer (1992); 'The Claustrum: An investigation of claustrophobic phenomena.' Karnac, London</p>		
② 2021年 5月 9日	Here and now と無意識的空想	福本 修 先生
<p>精神分析的なアプローチは、心の世界の探求方法であるとともに、治療者との交流を通じた治療法です。それが共感や助言を中心とした他の心理療法と異なるのは、「無意識」という次元が今ここで働いているのを考慮する点です。学派によって強調の異なる諸相を概観します。</p> <p>参考図書：現代クライン派精神分析の臨床 第一部第5章</p>		
③ 2021年 6月 20日	乳幼児観察入門—訓練から治療へ	鶴飼奈津子 先生
<p>乳幼児観察の訓練の方法とその意義について、ビデオ映像を交えながらご紹介します。また、昨今、ヨーロッパを中心に広がりを見せている、乳児観察の応用としての治療的観察について、事例を交えながらその意義を検討します。</p> <p>参考図書：乳児観察と調査・研究 キャシー・アーウィン, ジャニーン・スタンバーグ編著, 鶴飼奈津子監訳 (創元社)</p>		
④ 2021年 7月 11日	関係精神分析から見た「エナクトメント」	横井公一 先生
<p>「エナクトメント」という用語は 1980 年代に米国で用いられ始め、やがて精神分析の世界で広く使用されるようになりました。本講義では関係精神分析から見た「エナクトメント」という現象の意義を論じます。</p> <p>参考文献：Greenberg, J. (1998). A clinical moment. <i>Psychoanalytic Dialogues</i>, 8, 217-224. Bromberg, P. M. (1998). Staying the same while changing: Reflections on clinical judgment. <i>Psychoanalytic Dialogues</i>, 8, 225-236.</p>		
⑤ 2021年 9月 12日	治療作用論再考：解釈と関係性をめぐって	吾妻 壮 先生
<p>治療作用は解釈を通じた洞察にあるのでしょうか、あるいはある種の関係性の体験にあるのでしょうか。これまでこの問いの周辺でさまざまな議論がなされてきました。本講義では、これらの議論を整理しながら、治療作用論の本質について改めて考えます。</p>		
⑥ 2021年 10月 17日	治療関係における相互性と協働	平井正三 先生
オープン セミナー	<p>本講義では、フロイトの中に、権威主義的側面と相互性に開かれた側面とが混在していることを明らかにしつつ、精神分析的な心理療法の治療的潜在力は、相互性に開かれ、クライアントの実りある協働関係、互恵的な関係を構築する点にあることを論じます。</p>	
⑦ 2021年 12月 26日	基礎からのエディプス・コンプレックス	小林俊三 先生
<p>フロイトが自己分析を通して発見した精神分析の「背骨」概念を歴史的にわかりやすく振り返り、これが思考装置の本質を作るのはなぜかを考えます。</p> <p>参考図書：ソボクレス著「オイディプス王」(岩波文庫)</p>		
⑧ 2022年 1月 16日	スティーブン・A・ミッチェルの『愛の精神分析』をめぐって	辻河昌登 先生
<p>対人関係/関係精神分析学派のミッチェルの著書を下敷きにしなが、クライアントの語りにもみられる結婚、婚外恋愛（不倫・浮気）、離婚、性欲と恋愛、「好き」という言葉の含意などについて検討します。</p> <p>参考図書：スティーブン・A・ミッチェル著 池田久代訳 2004 愛の精神分析 春秋社 エスター・ペレル著 高月園子訳 2019 不倫と結婚 晶文社</p>		
⑨ 2022年 2月 13日	アセスメントと精神分析的カップルセラピー	仙道由香 先生
オープン セミナー	<p>「夫婦の問題」を主訴に訪れる患者のなかに、アセスメントを経て、個人心理療法よりもカップルセラピーをお勧めする例があります。今回は、「夫婦の問題」について考えつつ、精神分析的カップルセラピーの実際を紹介します。</p>	
⑩ 2022年 3月 13日	投影性同一視と治療関係	庄司 剛 先生
<p>クライン、ピオン、ジョセフらの仕事を中心に、投影性同一視（投影同一化）の概念の発展を歴史的に概観し、投影性同一視がどのようにして転移・逆転移を元にした治療関係を形作るのかを考えます。</p>		

対 象

医師・臨床心理士・公認心理師
日本精神分析学会会員
臨床心理系大学院生

講師紹介（開催順）

飛谷 渉 先生	精神科医 大阪教育大学保健センター
福本 修 先生	精神科医 代官山心理・分析オフィス
鶴飼奈津子先生	臨床心理士 大阪経済大学
横井公一 先生	精神科医・臨床心理士 浜寺病院
吾妻 壮 先生	精神科医・臨床心理士 上智大学
平井正三 先生	臨床心理士 御池心理療法センター
小林俊三 先生	精神科医 小林メンタルクリニック
辻河昌登 先生	臨床心理士(4月より) 帝塚山学院大学大学院
仙道由香 先生	臨床心理士 新大阪心理療法オフィス
庄司 剛 先生	精神科医 心の杜・新宿クリニック

Point !

受講は通年で、各回ごとの参加はできません。「参加認定証」は規程に従い7割以上の出席者に発行いたします。

(臨床心理士資格認定協会 4 ポイント)

臨床講読会 第2木曜日 19:30~21:30

オンライン
開催

テキスト：Margaret Rustin and Michael Rustin(2017)Reading Klein,Routledge

M.ラスティン&M.ラスティン著「リーディング・クライン」(金剛出版)

(内容)：クラインの論文からの多数の引用を通して、彼女の独創的着想を描出し、現代的観点からの再考を加えた著作です。

対 象：医師、臨床心理士、公認心理師、臨床心理系大学院生、約12名。原則毎回テキストを読んで参加でき、年1回レジュメ作成・発表を担当できる方。選考する場合があります。
なお、「精神分析研究会・神戸」入会者および当講読会の継続参加者を優先いたします。

講 師：小林俊三 先生(小林メンタルクリニック)

開 催 日：2021/4/8, 5/13, 6/10, 7/8, 8/19, 9/9, 10/14, 11/11, 12/9,
2022/1/13, 2/10, 3/10

初学者向け臨床講読会 月曜日 20:30~21:30

オンライン
開催

テキスト：(夏季)「対人関係精神分析の心理臨床」(川畑直人監修,誠信書房)

(内容)：タイトルは対人関係精神分析ですが、どの学派にも共通する「治療関係」を学べる内容です。開業臨床、病院臨床、学校臨床、学生相談臨床なども取り上げています。

対 象：医師、臨床心理士、公認心理師、臨床心理系大学院生、20名程度。

講 師：辻河昌登 先生(4月より帝塚山学院大学大学院)

開 催：年間25回程度。夏季、秋季、冬季に各8回程度。夏季は5月下旬から8回。

開 催 日：(夏季)2021/5/24, 5/31, 6/7, 6/14, 6/21, 6/28, 7/5, 7/12

グループスーパービジョン 第4土曜日 18:30~21:00

オンライン
開催

対 象：週1回50分のケースを持っている方で、年1~3回発表できる方。
前年度の参加者を優先いたします。

進 め 方：5~10名の参加者が毎月順番にケースを発表し、グループ全員でディスカッションしていきます。他の人のケースの展開を考え、コメントすることによって、分析的思考が身につけていきます。

講 師：小林俊三 先生(小林メンタルクリニック)

開 催 日：2021/4/24, 5/22, 6/26, 7/24, 8/28, 9/25, 10/23, 11/27, 12/25
2022/1/22, 2/26, 3/26

申込方法

- ① ホームページ <https://bunseki-kobe.com> の申し込みフォームから、3月28日（日）までにお申し込みください。（初学者向け臨床講読会は5月9日（日）まで）
- ② 4月4日（日）までに参加受付の連絡をメールでお送りします。尚、入会資格を満たさない方には、別途ご連絡いたします。
- ③ 参加受付の返信を受け取られた方は、下記振込先に、該当の参加費をお振り込みください。
納入期限：4月7日（水）（初学者向け臨床講読会については後日お知らせします。）

振込先: 三井住友銀行（神戸支店営業部・店番号 500）・普通口座・9230828
精神分析研究会・神戸 代表者 小林俊三

参加費：一年一括前納です。セミナー開始後のキャンセル及び返金はお受けしておりません。ご了承ください。

		精神分析 セミナー	臨床講読会	初学者向け 臨床講読会	グループSV
精神分析セミナー に参加される方	一般	60,000 円	15,000 円	(8回) 4,000 円※	15,000 円
	大学院生*	30,000 円	15,000 円	(8回) 4,000 円※	15,000 円
精神分析セミナー に不参加の方	一般・大学院生	—	25,000 円	(8回) 7,000 円※	25,000 円

* 臨床心理系大学院生および臨床心理系大学院修了後 1 年目の方
※初学者向け臨床講読会は、一括前納ではありません。

学会認定について

当研究会は以下の学会・認定協会の認定を受けています。

日本精神神経学会
日本精神分析学会
日本臨床心理士資格認定協会

症例応募について

事務局までお問い合わせください。症例応募用紙を送付致します。発表初心者枠も設けていますので奮ってご発表ください。
講義内容とリンクする事例の応募も歓迎します。

研修ポイントについて

精神分析セミナーの「参加認定証」は認定基準に従い、7割以上の出席者に発行致します。
(臨床心理士資格認定協会 4ポイント)

運営委員

小林俊三（代表）
櫻井興平 辻河昌登 馬場天信
星野修一 松村博史 守田敦子

お問い合わせ先：精神分析研究会・神戸 事務局

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通2丁目5-9 グランドプラザトアビル5階 小林メンタルクリニック内
E-mail : bunseki-kobe@yacht.ocn.ne.jp

詳しくは 精神分析研究会・神戸ホームページ <https://bunseki-kobe.com> をご覧ください。

検索

初学者向け臨床講読会のご案内

精神分析研究会・神戸 運営委員
辻河昌登（帝塚山学院大学大学院）

精神分析研究会・神戸では、2021年度から初学者向けの臨床講読会を開催いたします。
精神分析的な心理療法の訓練には、知的学習、スーパーヴィジョン、個人分析（教育分析）といった三つの柱があります。その知的学習の機会の一つとして、この臨床講読会をご活用いただければと思います。文献は精神分析的な心理療法に関する実践的で、初学者にも理解しやすい本を取り上げます。職場では精神分析的ないしは力動的な観点でディスカッションできる仲間がいない方もおられると思いますので、この会では同じ精神分析を学ぶ仲間として、メンバー間で支え合いながら、相互的ならびに互恵的な学びができればと期待しています。

下記の事項をご参照の上、奮ってお申し込みください。

対象：2021年度の「精神分析研究会・神戸」のセミナー参加者ならびに参加者が推薦する医師、臨床心理士、公認心理師、臨床心理系大学院生など20名程度（セミナー参加者を優先します。自称初学者も歓迎しますが、応募者多数の場合は臨床経験の浅い初学者を優先します。）

日時：月曜（5/24, 5/31, 6/7, 6/14, 6/21, 6/28, 7/5, 7/12）の 20:30～21:30
（オンライン開催）

期間：年間25回程度。夏季、秋季、冬季に各8回程度。夏季は上記の8回。
秋季と冬季の日程は、追ってご連絡いたします。

文献：夏季：「対人関係精神分析の心理臨床」（川畑直人監修、誠信書房）
タイトルは対人関係精神分析ですが、どの学派にも共通する「治療関係」について学べる内容です。
開業臨床、病院臨床、学校臨床、学生相談臨床なども取り上げています。
秋季と冬季のテキストは、追ってご連絡いたします。

参加費：夏季（8回分）セミナー参加者4,000円、参加者が推薦する者7,000円
秋季、冬季からの参加や一期だけの参加もOKです。

申込要領：「精神分析研究会・神戸」のホームページ <https://bunseki-kobe.com>にある
申し込みフォームからお申し込みください。

申込締め切り：5月9日（日）